

# 2012年度 第1回神奈川県ミニバスケットボール連盟 審判講習会

## 実施報告書

1. 報告者 福田 達夫（神奈川県ミニバスケットボール連盟審判長）
2. 講習会の目的と内容  
来年度開催予定の関東ミニバスケットボール大会（神奈川大会）に向け、神奈川県ミニバスケットボール連盟所属の審判員を対象に審判技術の向上を目的として、神奈川県協会より講師を招き審判講習会を実施した。  
今回は、神奈川県ミニバスケットボール秋季大会を利用しての実技講習及び大会終了後の座学講習会を行った。座学講習会については、関東ミニバスケットボール大会神奈川県予選の最終日の試合をビデオで撮影し、各審判員のレフリングを確認しながら注意点等の共通認識を確認した。
3. 講習会日時及び会場  
2012年11月3日（土） 平塚総合体育館
4. 神奈川県バスケットボール協会講師  
渡部 伸一氏 茂泉 圭治氏
5. 講習会対象者及び参加者数  
神奈川県ミニバスケットボール連盟所属日本公認審判員  
神奈川県ミニバスケットボール連盟所属神奈川協会公認審判員  
神奈川県ミニバスケットボール連盟公認審判員  
参加者 46名
6. 講習会参加者の感想等

### 日本公認 脇門 卓矢（横須賀）

#### (1) 審判割当

11月3日（土） 女子決勝 大正ミニバス（横浜）－若松ミニバス（北相）  
主審）茂泉 圭治氏 副審）脇門 卓矢  
主任）宇田川 昌彦氏

#### ミーティング内容

- ・前半は良かったが、後半にかけて判定できなくなっていた。
- ・自分が見るべきエリアを、もっと把握してほしい。
- ・大きな選手に対するディフェンスのつき方に目をつけておく。
- ・ボール中心で捉えている時間が長い。

## (2) 審判講習会（座学）感想

県大会最終日を撮影した映像（各試合第1ピリオド）をもとに、座学講習会を行った。

講習会の内容と自分の試合の反省もふまえて、以下の4点を今後の課題として改善していきたい。



### ①何を「見る」ために、そこへ「動く」のか。その意図を明確にする。

終始、講師の方がおっしゃっていたのは、何を「見る」ために、そこへ「動く」のかということだった。

マニュアルに記載されているから動くのではなく、そこを見るための意図を持って動かなくてはいけない。（例えば、エリア3の攻防、キーマンとなるプレイヤーのいる位置等）

選手・ベンチ・観客に対する信頼感を保つためにも、白黒はっきりしている結果を取りこぼしてはならないのだと思った。

### ②初めて出会ったレフリーとのコミュニケーションを大切にする。

審判をするにあたって、どういう話し合いをしてゲームに臨むのかというお話をしていた。

特に、県外に出たときは、綿密な打ち合わせが必要であるとのことだった。

自分が担当したゲームでは、インサイドのプレイヤーがキーマンであり、そのディフェンスのつき方が一つのポイントであった。3～4番エリアの受け渡しも含めて、どのように2人で分担して捉えていくのか、茂泉氏に丁寧なプレゲームカンファレンスをしていただいた。そういう話し合いが、良い判定につながるのだと強く感じた。

### ③自分の責任を果たすことで、二人の協力へとつなげる。

「相手が目の前にいたから」相手に任せて、シングルコールになるというケースがあった。

特に、自分の目の前から始まるプレイに関しては、自分が最後まで責任を持って判定するという気持ちが必要なのだと感じた。自分の責任を果たすことによって、二人の協力が生まれる。周囲に対する信頼感を与えていくためにも、そういう意識を保ち続けていきたい。

### ④「最終日の割当」という意図を受け止める。

今回、最終日の割当をいただき、その意図について考えさせられた。

「吹きたい人はたくさんいる！」

その中で、自分が吹かせていただいたのだから、その思いをもっと強く受け止めなくてはならないと思った。また、選手である子どもたちにとっても、その時の試合は1度きりなのであるから、審判がその気持ちや技術に遅れをとってはいけない。様々な方々が関わって、大会が運営されていく中で、自分もその責任を果たしていかなければならないと感じた。

### (3) 最後に

今回の大会を通じて、自分の成果と課題を整理することができました。いつもは、「できなかったこと」ばかりに目が向いてしまいがちでしたが、今回は「できたこと」についてもアドバイスをいただけたことにより、自分の「最低合格ライン」というものを感じるすることができました。今後は、「最低合格ライン」をさらに上げていくことにより、自分自身を高めていきたいと思います。今回の経験を活かし、次の大会でもチャレンジができるように頑張っていきたいです。

## 神奈川県公認 鈴木 潤（横浜）

今回は、大会最終日のゲームを使用した講習、大会終了後ゲームの映像を使用した講習を受講させていただきました。

### ①試合後のミーティングについて

ゲームを使用した講習で私がもっとも感じたことは「目の前で起こっているプレイに対して疑問を持つことや、本当に正当なプレイが行われているのか、ということをやコート上で常に判定し続けることの重要性」です。プレイヤーがボールを失った原因は何か、選手が転んだ原因はどこにあるのか、ということを考え・感じて、一つ一つ判定していかなければ、トラブルを招き、ゲームがスムーズに進まなくなるということ学びました。

## ②座学講習会について

映像を使用した講習で私が感じたことは「コート上での表現の重要性」です。

例えば、

- ・エリア3でのプレイの見方（特にベンチ前は危機感を持つ）
- ・プレイヤーとの距離感
- ・自分のエリアにボールが無い時の視野、位置取り
- ・相手審判の目の前で起こっているプレイの判定
- ・特別なマッチアップに対する2人の審判の関わり方
- ・失敗を取り返す動き
- ・リードの時、プレイヤーより先行して位置に入れているか
- ・自分のエリアから始まるプレイの判定
- ・ダブルホイッスルの重要性（ゲームを円滑に進めるため）

などの動き、判定、考え方は、私自身の審判にも活かしていきたいと感じました。

## ③講師の方々からの話について

講習の最後に講師の方から県公認審判員に向けてどのようなことに注意する必要があるか等のお話をいただきました。

- ・日本公認になりたいという強い意志を持つこと。
- ・日本公認になるためには何を変えていく必要があるのかを常に考えること。  
（例えばモチベーション、判定力、体力等）
- ・自分を変えていくためには日ごろの地区での取り組みが重要であること。  
その中で今自分ができていることを積み重ねていくこと。

## ④感想

割当をいただくことができずにくやしい思いをしましたが、コート外から様々な地区の審判員の仲間の姿を見ることができました。

その中で私自身の審判に活かすことのできる動きや考え方を学ぶことができました。今後は今大会を通じて学んだことをコート上で表現し、日本公認をめざしていきたいと思います。

最後になりましたが、お世話になった講師の方々、各地区審判員の皆様、大会役員、チーム関係の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

## 未公認 石井 賢（横浜市南ブロック）

今回の関東ミニバスケットボール大会神奈川県予選と座学講習会を受講してたくさんのお話を学ぶことができました。普段聞くことのできない話を聞くことができ、私自身、刺激を受けるとともに、これからの自分の課題というものを知ることができました。

座学講習会中で、特に印象に残っていることを述べたいと思います。

### ①目的のために動く

足を運び、スペースをとらえて判定するのは、もちろんですが、私の場合は、足を運んだだけで満足してしまうことが多いと感じました。私の場合は、「足を運ぶ」目的は、判定することではなく、プレイをしているプレイヤーに近づくことになってしまっているのではないかと思います。これからは足を運び、スペースをとらえに行き、「判定」をするために足を運びたいと思います。

### ②ボールばかりを見ない（ボール中心）

ボールしか見ていないと、次の反応が遅れてしまうことがあることを再度認識しました。この点においても私に当てはまり、ボール中心に見てしまっているということを反省等であらうので、今後は次にどういうことが起きるか、起きそうなのかを予測することを心掛けてみたいと思います。

### ③ベンチ前（エリア3）の意識。

ベンチ前で攻防に対しては、もっと意識した方が良く感じました。特にベンチ前がエリア3で、トレイルが遠くなってしまった場合、何かが起き、判定できないとそれがチームや応援の方のストレスになってしまうからです。今後は、ベンチ前（エリア3）を特に意識し、足を運んで判定していきたいと思いました。

### ④ダブルホイッスルの重要性

### ⑤感想

実際に関東ミニバスケットボール神奈川県予選の割当をいただき、審判をしてみて、横浜市大会から県公認や日本公認の方と一緒に吹かせていただき、多くの刺激を受けることができました。その中で特に感じたことは、審判の上手な方ほど、コールやジェスチャーが綺麗であったことです。正確な判定はもちろんですが、私も誰が見ても「綺麗」だといわれるようなジェスチャーができるよう身につけていきたいと改めて決意しました。

もうひとつ感じたことは、プレイをたくさん知っているということです。そのためプレイの予測を立てるのが上手なのではないかと思います。私の場合は、プレイの予測をしても外れてしまうことが多々あるので、多くの審判を行いプレイの知識や幅を増やし、今自分に求められていることは何かということを考え、一つずつクリアし、素晴らしい審判になりたいと思いました。

## 7. 講習会を終えて

来年度、神奈川県において開催される「関東ミニバスケットボール大会」に向け、今後も講習会を継続して開催し、日本公認審判員のレベルアップのみならず、一人でも多く神奈川県公認から日本公認審判員が誕生するよう研鑽を重ねていきたいと思ひます。

最後になりましたが、この講習会のために講師を派遣していただいた神奈川県協会、神奈川県ミニバスケットボール連盟の皆様並びに大会へ出場したチームの皆様を含めすべての方に感謝したいと思います。ありがとうございました。

以 上